

## 学校給食への異物混入について

令和3年1月21日（木）、海老名市立有鹿小学校の給食で提供された「ナムル」に異物が混入した。児童が食べようとしたときにビニールの切れ端のようなものを発見し、担任に報告した。食べる前に発見したため、現時点では健康被害の報告はない。

なお、同校のほか食の創造館から提供されている他5校分（Aコース）の状況について確認を行ったところ、問題はなかった。

これを受け、教育委員会は再発防止について、関係機関に指示をした。

1 発生日時

令和3年1月21日（木）午後0時30分頃

2 発生場所

海老名市立有鹿小学校（海老名市河原口三丁目13番1号）

校長 小宮 洋子 児童数 556人

3 事故の内容・経過など

同校5年生の児童が「ナムル」を食べようとしたときに、ビニールの切れ端のようなものを発見した。

4 異物の概要

ビニールの切れ端のような透明のもの（幅約0.5cm、長さ約35cm）

5 当日の献立（Aコース）

すぶたごはん、ナムル、牛乳

6 その他

異物の成分及び混入原因については、  
現在調査中



▲ビニールの切れ端のような透明のもの

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市教育部就学支援課 電話046・235・4921

